



滝上町外国語指導助手

Jordy's コーナー

3月24日から4月6日まで、8カ月ぶりにアメリカカへ里帰りしてきました。わたしの故郷・ウッドランズはこの季節、15℃~20℃くらいで、とても過ごしやすくLovelyな気候です。もう桜を見ることができました。

元気な両親、妹、大好きな猫に会えてすごうれしかったです。わたしが帰国したことで、4時間離れたところに住んでいるおばあちゃんや親戚も会いに来てくれました。なつかしい友達とも会い、楽しい時間を過ごしてきました。

わたしがアメリカに帰ったら必ず食べたいのは、メキシコ料理のブリトーです。あのコンビニで売っているブリトーとは全然違うんです。とうもろこしが原料のトルティーヤの上にお肉・チーズ・豆・サワークリーム・ト



↑これがブリトーです。

マト・レタス・お米などをのせてアボカドやレモンジュースで作ったスパイシーなソースをかけて、くるくると巻いて食べます。アメリカにいた頃は2~3週間に1度は必ず食べていました。もちろん、今回の帰省でも食べてきましたよ。

ただ、アメリカに着いてすぐ体調を壊して寝ている時間が多かったのは、とても残念でした。久しぶりに帰ってみて、ウッドランズはとても騒がしい印象を持ちました。わたしは随分、滝上の生活に慣れてきたようです。



おぐり アイ 小栗EYE

郷土館管理人小栗さんに収蔵品の紹介や、それらにまつわるエピソードなどを紹介させていただきます！

「デルビル磁石式壁掛電話機」

明治二十九年に開発、作られた型式の電話機です。その後も永く作られ昭和三十年代にも町内の商店で使っているところがありました。

今の電話のように相手の番号をプッシュするものではなく、箱の横についているハンドルを回して電話局の交換手呼び出し、相手につないでもらう電話です。左側にある受話器を耳にあて、箱の中央の送話器に向かって話します。

滝上に初めて電信電話がついたのは昭和三年で、滝上郵便局でした。でも電話は区外電話のみで村内の電話はありませんでした。昭和六年になって市街に電話がつけられ滝上郵便局で電話交換が始まりました。この時の電話台数は滝上濁川両方で三十八台でした。村内の他の郵便局にも昭和十一年から電信電話がつけましたが区外通話のみでしたから農家で電話を利用できるようになったのは昭和四十四年に農事有線放送電話(通称「農電」)がついてからです。農電同士ではダイヤル自動交換で直接つながりました。市街の電話には農協にある交換機を介して接続できました。

さて、昭和四十八年に滝上電報電話局が開局されると永い間の滝上郵便局での電話交換は終わりました。交換機は自動式になりました。通話区域も農家地区に拡大され昭和五十七年農電は廃止されました。電話機はすっかり便利にスマートになり、さらに今や携帯電話時代になりましたが、時には昔の電話機に興味を持ってほしいと思います。



〜お願い〜

昔の滝上新聞を探しています。一枚でも二枚でもいいです。是非ご寄贈をお願いいたします。

連絡先 電話 29・3499 郷土館